

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【公開番号】特開2015-78363(P2015-78363A)

【公開日】平成27年4月23日 (2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-027

【出願番号】特願2014-205651(P2014-205651)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/34 (2014.01)

C 0 9 D 11/10 (2014.01)

C 0 9 D 11/38 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/34

C 0 9 D 11/10

C 0 9 D 11/38

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 J 2/01 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月4日 (2017.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶性成分と；

芳香族ロジンエステルであるアモルファス成分と；

を含む相変化インクであって、着色剤を更に含むか又は含まない相変化インク。

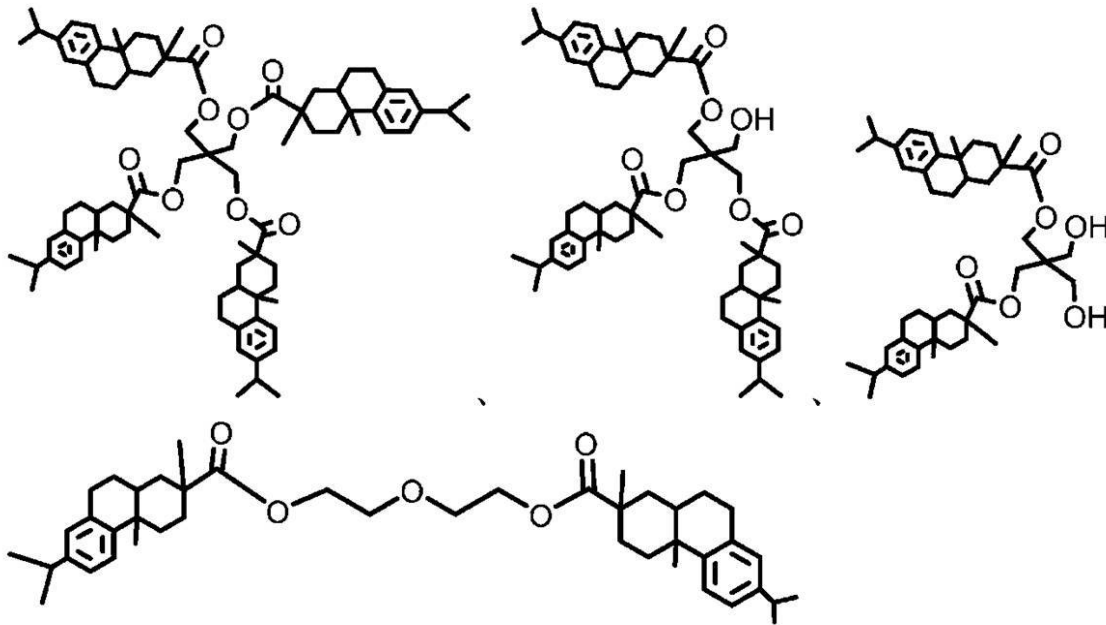
【請求項 2】

顔料、染料、及びこれらの混合物からなる群より選択される着色剤を更に含む、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 3】

前記芳香族ロジンエステルは、

## 【化 1】



、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 4】

前記アモルファス成分および前記結晶性成分は、生物によって再生可能な内容物 (bio-renewable content) を少なくとも 80 重量%含む、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 5】

生物によって再生可能な内容物 (bio-renewable content) を少なくとも 70 重量%含む、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 6】

前記結晶性成分は、ジステアリルテレフタレート、ジドコシルテレフタレート、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 7】

前記結晶性成分は、相変化インクの合計重量の 60 重量% ~ 95 重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 8】

前記アモルファス成分は、相変化インクの合計重量の 5 重量% ~ 40 重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 9】

結晶性 / アモルファス比が 60 : 40 ~ 95 : 5 である、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 10】

前記結晶性成分は 140 の温度での粘度が 12 cP 未満である、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 11】

前記アモルファス成分は T<sub>g</sub> が -10 ~ 30 である、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 12】

前記アモルファス成分はオープン中、140 で 5 日間熟成させても粘度が実質的に上昇しない、請求項 1 に記載の相変化インク。

## 【請求項 13】

1 0 0 ~ 1 4 0 の吐出範囲での粘度が 1 ~ 2 2 c P である、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 1 4】

室温での粘度が 1 0 <sup>6</sup> c P よりも大きい、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 1 5】

分散剤、相乗剤、酸化防止剤、すべりおよびレベリング剤、清澄剤、粘度調整剤、接着剤、可塑剤、及びこれらの混合物からなる群より選択される添加剤を更に含む、請求項 1 に記載の相変化インク。

【請求項 1 6】

結晶性成分と；

芳香族ロジンエステルであるアモルファス成分と；

顔料と；

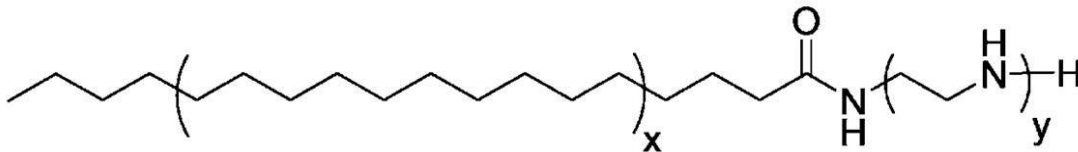
顔料分散剤と、

を含む相変化インク。

【請求項 1 7】

前記顔料分散剤は下記式 I I の構造を有するアミン系分散剤である、請求項 1 6 に記載の相変化インク。

【化 2】



式 I I

〔式中、x は 1 ~ 1 0 であり、y は 1 0 ~ 1 0 , 0 0 0 である。〕

【請求項 1 8】

平均粒子サイズが 5 0 n m ~ 4 0 0 n m である、請求項 1 6 に記載の相変化インク。

【請求項 1 9】

結晶性成分と；

芳香族ロジンエステルであるアモルファス成分と；

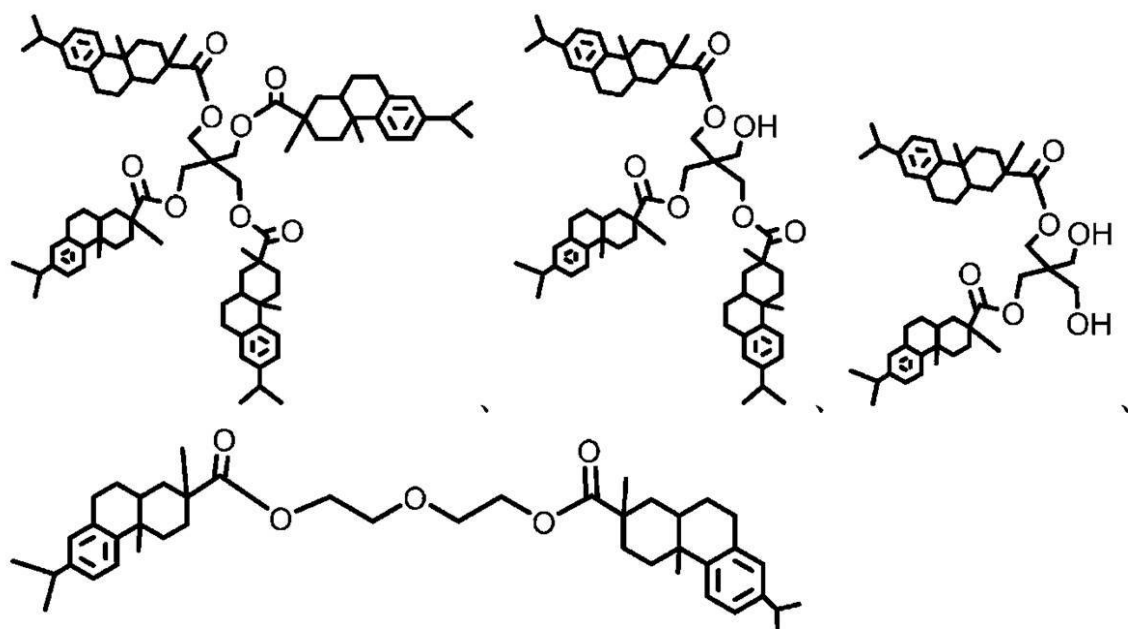
着色剤と；

を含む相変化インクであって、前記アモルファス成分及び前記結晶性成分は生物によって再生可能な内容物 ( b i o - r e n e w a b l e c o n t e n t ) を少なくとも 8 0 重量 % 含む、相変化インク。

【請求項 2 0】

前記芳香族ロジンエステルは、

【化 3】



、およびこれらの混合物からなる群より選択される、請求項 19 に記載の相変化インク。